

MUTOH

取扱説明書

OPERATION MANUAL

MUTOH DIGITAL MEASURE

DIGITAL MEASURE

DMR-100A (B)

デジタルメジャー /DMR-100A (B)

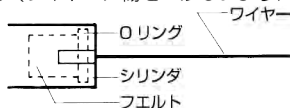
このたびは、デジタルメジャーをお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。

本製品は工作機械等にセットし、移動体の移動量をデジタル表示するものです。

デジタルメジャーを安全に正しくお使いいただくために、この説明書をお読みの上、説明書通りのセッティングとご使用をお願い申し上げます。

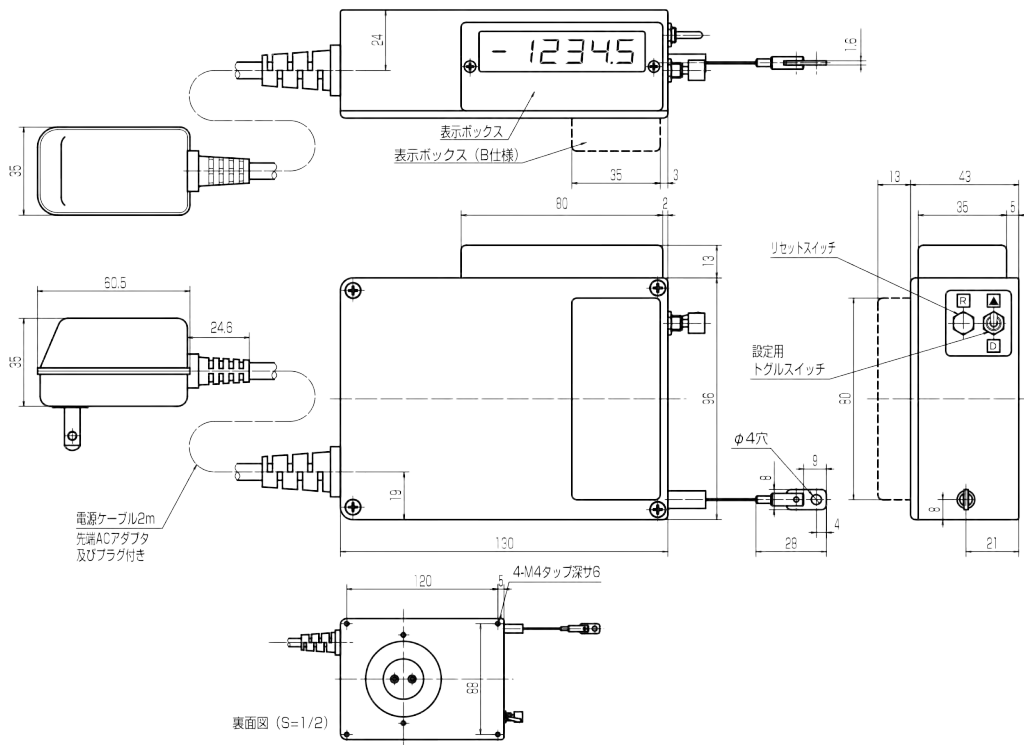
注意

- ◆ワイヤーの突き放しはしないでください。ワイヤー破断となることがあります。
- ◆本品は精密部品で構成されていますので、故障等の発生があっても分解せず、そのまま修理返却としてください。
- ◆表示部はプラスチックにより保護されていますが、物をぶつける等の過度の衝撃は特にご注意ください。
- ◆分解したり、むやみにフタを開けたりしないでください。
内部のスプリングが飛び出し、けがをするおそれがあります。
- ◆ワイヤーには近づかないでください。
万一ワイヤーが切れた場合、高速で巻き取られ、けがをするおそれがあります。
- ◆強電（インバータなど）の配線と電源ケーブル線は極力離して（50cm以上）配線してください。
- ◆インバータを利用した場合のモータ動力線には4芯ケーブルを使用し、その内1本をアース線としてインバータのアース端子に接続し、ノイズを低減させてください。
- ◆ワイヤーに切粉・油等がかかからない様にしてください。
ワイヤー引込口に油吸収用のフェルトがセットされていますので必要に応じ適宜交換してください。
交換手順は次の通りです。（ワイヤーに傷をつけないように）



- ①シリンダーの溝部より、針先等によりOリングをはずしてください。
 - ②同様に針先等でフェルトを引き出します。フェルトには切れ目が入っていますのでワイヤーよりはずすことができます。
 - ③新しいフェルトと交換し、Oリングを元の位置に押し込んでください。（シリンダー内径部に凹溝が有りますのでOリングがその溝に収まるように）
- ◆清掃する際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。汚れが気になる場合は、中性洗剤を水でうすめて柔らかい布に浸し、よく絞ってから拭いてください。
アルコール、ベンジン、シンナーなどを使うと、外装が変色したり変形したりします。

A 外形図

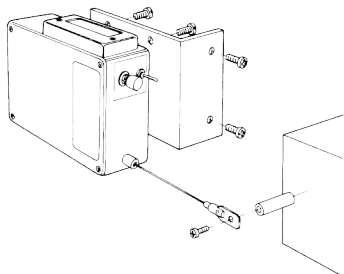


B 主な仕様

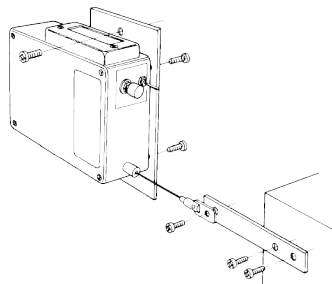
表示桁数	5 桁／赤色 7 セグメント LED ／文字高 10mm
カウント範囲	+ 9999.9 ～ - 9999.9
最小読取値	0.1mm
分解能	0.1mm
ワイヤー引張力	1.96N ～ 3.43N (200gf ～ 350gf)
最大応答速度	100m / min
精度	± 0.1mm + 量子化誤差
リセット／プリセット	リセットスイッチを押すと FUN08 の設定値に現在値を修正 『D』側にスイッチを 2 秒間倒し、任意の現在値に修正
メモリ	不揮発性メモリ 10 年間バックアップ
キースイッチ	『D』: 桁移動／リセットスイッチ : 書込み／『▲』: UP 2 キー (3 機能)
電源	AC100V ± 10% 50/60Hz
電源コード	2M (電源アダプター付)
消費電力	3.3W
使用温度範囲	5 ～ 45℃
使用湿度範囲	RH35%～ 90% (結露無き事)
保存温度範囲	- 20 ～ 80℃
質量	約 980gf
耐振動	49m/s ² で 30 分
耐衝撃	耐久 294m/s ² X・Y・Z 各方向 3 回
保護構造	IP-50

C 取付例

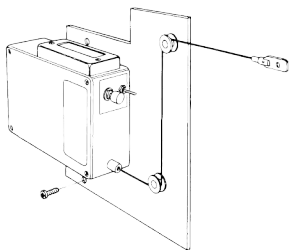
例 1



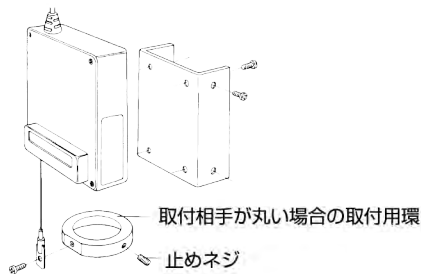
例 2 移動量は少ないが、ワイヤー長さが1Mを超える場合 アームの延長



例 3 ワイヤーがまっすぐ引張れない場合 滑車の利用 滑車径 30φ以上

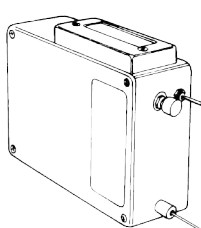


例 4 相手を挟み固定する



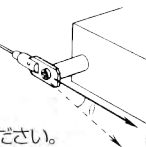
D 取付手順

1. 取付例を参照して取付用補助部品を製作してください。



1) 本体とフック取付位置が移動方向の直線上にあるようにしてください。
読み取り誤差の原因となります。

2) ワイヤの引き出し量が1M以内であることを確認してください。



このように移動方向がワイヤの張る方向から傾かない(θ)ようにしてください。
移動方向

2. 表示部の向きを確認してください。

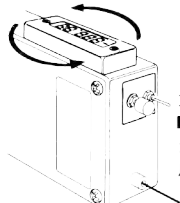


この部分の狭い方が上になります

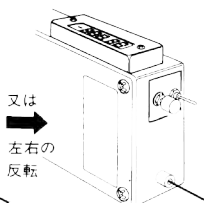
必要とする向きが反対の場合は、ネジ \ominus 2ヶ所をはずし、表示部を本体より2mm程持ち上げてください。
下にゴムシートが入っていますので多少粘着した様になっていることがあります。
その状態で表示部を左右反転してください。あとは元の様にネジ止めしてください。

表示部は次の様な4種の取付が可能です。

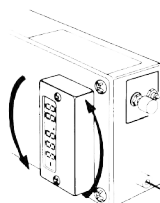
但し、A または B の取付位置選択は注文時に指定が必要です。左右の反転は任意にできます。



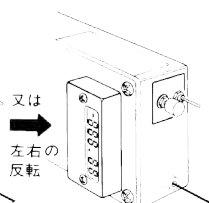
例 A-1



例 A-2



例 B-1



例 B-2

3. 本体を相手に固定してください。

フックの取付く相手を本体に近づけてから、フックを引張って固定してください。



注意

フック取付く相手を遠くに離れた状態でフックをその位置まで引張って取り付けると、取り付け時にフックを手放す事故の元になります。ワイヤーを引張った状態で突き放しますとワイヤー破断となることがありますので注意してください。

4. 電源をコンセント (AC100V) に差し込んでください。 以上で取り付け完了です。

E ファンクションモード

デジカラーの機能を設定するため各パラメータ（ファンクション以降 FUN）を設定してください。

手順 1：本体横の設定スイッチを【▲】側に 2 秒間以上倒すとファンクションモードとなります。
その際、ご使用開始直後は“F-01”と表示しますが、電源投入後 2 回目以降は前回選択された最後の FUN 番号を表示します。
このとき、選択された FUN 番号と設定されているデータを交互に表示します。

手順 2：ファンクション番号の選択
交互表示状態の時、パネルの【▲】側に倒すごとにファンクション番号がアップします。
なお、スイッチを倒し続けると早送りで FUN 番号が変わります。

手順 3：設定値の変更または確認
変更または確認したいファンクション番号を表示させると FUN 番号と設定値が交互に表示されますので、設定値を確認します。
この状態で【D】側に倒すと、設定値変更モードに移行します。

手順 4：設定値の変更
手順 3 の操作により設定可能桁が点滅状態となり、【D】側に倒す毎に設定桁は右に桁移動します。
設定桁が最下位まで移動した後、更に【D】側にキーを押すと最上位桁に戻ります。

手順 5：データの設定および変更

点減している桁に対して【▲】側に倒すと設定値がアップします。
また“-”データが設定可能なデータのみ“-”が表示されます。

手順 6：設定値変更確定と確認

データの設定が完了した時点で、表示部横のリセットスイッチを押すと登録データが確定し、変更された設定値とファンクション番号を交互に表示します。この状態で更にリセットスイッチを押すと通常モードに戻ります。

F ファンクション初期設定値

	No.	項 目	5 桁目	4 桁目	3 桁目	2 桁目	1 桁目
	01	基本パラメータ設定				6	2
未使用	02	変更しないでください。				1	2
	03		0	2	5	0.	0
	04		0	1	2	5	0
	05					0	0
	06	カウント極性切り替え				0	
未使用	07	変更しないでください。				0	
	08	プリセット値設定	0	0	0	0.	0
未使用	09	変更しないでください。					
	26						

G 設定内容

FUN01：基本パラメータ設定

— 0.0.0.0.0 (初期設定値)

初期化を行った場合は“00”となります。
初期化後は“62”を再設定してください。

FUN06：カウント極性切替

— 0.0.0.0.0 (初期設定値)

カウントの極性を変更する場合、“0”または“1”のどちらかを選択します。

FUN08：プリセット値設定

— 0.0.0.0.0 (初期設定値)

FUN08に任意の値を設定した後、通常モードに戻ると現在値がこの値に修正されます。
リセットスイッチを押すと、プリセット値が現在値となります。

FUN02～05、07、09～26：未使用

※設定値は変更しないでください。

H 操作方法

パラメータの設定について

カウント方向を逆にしたい場合（ワイヤー引き出し時-カウント）

手順1：FUN6 の値を 1 に変更してください。

現在値修正（リセット・プリセット）について

・リセットの場合

手順1：表示部横のリセットスイッチを押すと現在値が0リセットされます。

・固定値プリセットの場合

手順1：あらかじめ、FUN08 に現在値を修正したい値を設定します。

手順2：表示部横のリセットスイッチ押すと FUN08 に設定されている値に現在値が修正されます。

※ プリセット機能を使用した場合、0リセットはできません。

現在値修正（任意プリセット）について

手順1：【D】側にスイッチを2秒間以上倒すと現在値修正モードとなります。

その際5桁目のLEDが点滅します。

手順2：スイッチから一旦手を離し、再度【D】側に倒す事により点滅が右にシフトします。

そして入力したい桁を点滅させます。

点滅の順番 5 → 4 → 3 → 2 → 1 → 6 → 5 ・ ・ ・ 桁目が順番に右へシフトします。

※ 6桁目は“-”表示のみとなります。

手順3：【▲】側にスイッチを倒して任意の値をセットします。

手順4：必要に応じて手順2～3を繰り返し値をセットします。

手順5：設定が終了しましたら、リセットスイッチを押すとデータが確定します。

設定例：現在値を『- 150.00』にしたい場合

1. 【D】側にスイッチを2秒以上倒すと、5桁目のLEDが点滅します。
2. 一旦スイッチから手を離し、【D】側にスイッチを1回倒すと4桁目のLEDが点滅します。
3. 【▲】側にスイッチを1回倒すと表示が1に変わります。
4. 【D】側にスイッチを1回倒すと3桁目のLEDが点滅します。
5. 【▲】側にスイッチを5回倒すと表示が5に変わります。
6. 【D】側にスイッチを3回倒すと点滅がなくなります。
7. 【▲】スイッチを1回倒すと-表示に変わります。
8. リセットスイッチを押すと、表示が“- 1 5 0.0 0”と変わり使用状態に戻ります。

1 パラメータの初期化

下記の操作を行うことにより、各パラメータを出荷時の状態に戻すことができます。
なお、本操作を行った場合、設定値のすべてが消去されますので十分注意して行ってください。

手順1：本体の電源を切ります。

手順2：【D】側にスイッチを倒したまま電源を入れます。
約1秒後表示が“0.0”となり初期化が完了します。

手順3：「E ファンクションモード」の項目を参考にパラメータを再度設定してください。

MUTOH

202205

武藤工業株式会社 <https://www.mutoh.co.jp/digi/>

東京都世田谷区池尻3-1-3 〒1564-8560 TEL(03)6758-7000(大代)